

# 教職実践演習

教職課程科目／2単位／S授業

担当教員 登坂 学

■使用テキスト

◆参考テキスト

山崎英則（編著）『教育実習完全ガイド』ミネルヴァ書房

※スクーリングでは参考程度にしか使用しないが、各自熟読のうえ、適宜質問されたい。

## 講義概要・一般目標

本科目の主要目的は、教育実習を通して得られた知識と経験をふりかえり、教員免許取得までにさらに修得することが必要な知識や技能等を理解すること、これまでの教職課程における学修を振り返ったうえでそれを補完することである。

実際の授業においては、グループ討論、外部講師による講義、模擬授業など、教職に求められる資質能力を補完するためのさまざまな活動を行う。本講義と並行して受講生に対して個別指導を実施し、教職キャリア形成の一助とする。

三日間にわたる授業計画は以下のとおりであるが、これは暫定的なものであり、受講生の人数、各々の教職への考え方、ニーズ等が判明した時点で授業内容を再吟味し、修正・変更を行う場合がある。その際は再度通知する。

### 【1日目】

- 1限 教職の意義に関する学習（外部講師または学外見学による）
- 2限 教科指導に関する学習（外部講師または学外見学による）
- 3限 「振り返りシート」の作成

### 【2日目】

- 1限 イントロダクション、「教職カルテ」完成によるこれまでの学修の振り返り
- 2限 「教職カルテ」完成によるこれまでの学修の振り返り、発表
- 3限 対人関係能力等に関するワークショップ
- 4限 子ども理解・生徒指導等に関するグループ討論
- 5限 学級経営等に関するグループ討論
- 6限 補完的指導

### 【3日目】

- 1限 学習指導案の作成および指導
- 2限 学習指導案の作成および指導
- 3限 模擬授業および検討会①
- 4限 模擬授業および検討会②
- 5限 模擬授業および検討会③
- 6限 模擬授業および検討会④

例年、本講義は少人数制であるため、担当教員は各受講生の個別ニーズを把握したうえで、できる限りきめ細かな指導を心掛けてきた。ここにメールアドレスを提示するので、本科目に関して疑問点等や相談事項があれば遠慮なく連絡してほしい。 登坂 学 tosaka@phoenix.ac.jp

## 到達目標

- 1) 教師として求められる資質能力について、大切なことがらを理解する。
- 2) これまでの学習や実習等の経験をとおして、自分が教師としての資質能力をどの程度まで修得しているかを客観的に把握できる。
- 3) 教職に向けて今後さらにどのような課題に取り組むべきかを理解し、その課題に取り組もうとする姿勢を身につける。

## 評価方法

出席状況（遅刻・欠席は不可）、受講態度、科目単位認定試験（スクーリング最終日に実施）。